

## 4. 各種プロジェクト

### Hitotsubashi University Global Education Program(HGP)

国際教育交流センターは、大学内外の機関やセンターと連携し、さまざまなプロジェクトに取り組んでいる。以下では、そうしたプロジェクトの一つとして、Hitotsubashi University Global Education Program (以下 HGP) について報告する。なお、2018 年度秋冬学期より、HGP は全学共通教育センターの国際交流科目部門と本センターが協力して実施している。

#### 1. Hitotsubashi University Global Education Program (HGP)

2010 年度に発足した HGP は、学生の国際的な視野を涵養するため、社会科学分野における学際的な科目を英語で提供する教育プログラムである。HGP は、(1) 全学共通教育センターの開講する国際交流科目、(2) 英語による全学共通教育科目、(3) 英語による各学部の学部教育科目の3種の科目で構成され、日本人学生はもとより、各国の協定校からの交換留学生を含む全ての一橋大学生が履修することができる（資料1）。

全学共通教育センターの国際交流科目部門は、教務課の支援を得ながら①HGPの中核となる国際交流科目（英語による日本・世界事情及び社会科学関係科目、日本語初級科目及び英語による科目を受講するために必要なスキルを身につけるための科目）の企画立案及び運営、②各学部・研究科から提供される英語による社会科学関連科目のとりまとめ及びグローバル・スタンダードに準拠した科目群の体系化、③HGPに関する国内外への情報発信、④日本人学生及び協定校からの交換留学生向けに英語による HGP のガイダンス、履修相談会の提供、加えて、⑤HGP 科目履修促進のため（特に日本人学生を対象として）、さまざまな学問分野からゲストスピーカーを招いての公開講演「HGP セミナー」等の企画・運営を行っている。2022 年度の本部門における活動実績と自己評価を以下の通りまとめる。

#### 1.1 HGP の開講科目数－資料 2、3

2022 年度、HGP は全体で 146 科目（昨年度比+3：以下同様に括弧内の数字は昨年度比を示す）を開講した。そのうち、①英語で行われる科目が 125 科目（+4）で、②日本語教育科目は 21 科目（-1）であった。①の内訳は、国際教育交流センター開講の国際交流科目が 24 科目（-5）、全学共通教育科目が 4 科目（+1）、商学部が 24 科目（-1）、経済学部が 43 科目（+6）、法学部が 15 科目（+1）、社会学部が 15 科目（+2）であった。②の日本語教育科目は、国際交流科目として 21 科目（-1）を開講した。総履修者数は 2,184 名とコロナ禍前の 2019 年度（2,180 名）を超えた。

## 1.2 HGP の科目担当教員数（所属別）－資料 4

HGP 科目を担当した教員（非常勤講師や客員教授を含む）は 99 名（昨年度比+10）であった。その内訳は、国際教育交流センターが 28 名（+3）、全学共通教育センターが 2 名（±0）、4 研究科（経営管理、経済学、法学、社会学）が 68 名（+6）であった。国際教育交流センター所属教員 29 名の内訳は、7 名が専任教員、22 名が非常勤講師となっている。なお、上記の数字は、1 つの科目を複数の教員が担当している場合もヘッドカウントしている。

## 1.3 HGP の学生向け説明会

2022 年度はコロナ禍で実施せず、ウェブサイトで情報を提供した。

## 1.4 交換留学生と日本語・日本文化研修留学生（日研生）に対する履修登録支援

2022 年度はコロナ禍で履修登録相談会や履修登録の説明を対面で行うことが不可能であったため、履修登録相談会を Zoom によるライブ配信で実施し、CELS による履修登録方法や抽選科目に関する説明については、教務課がウェブサイトを通して情報提供することで対応した。

## 1.5 HGP セミナーの実施

国内交流セミナーの支援を受け、2022 年度は HGP セミナーを以下の通り 2 回実施した。本セミナーは英語による講義をトライアルで聴講できる機会を学生に提供しており、参加者からは好評を得ている。

講演タイトル	開催日	講演者
Learning Decision-making through a Business Game	2022 年 6 月 27 日	Takao Kawasaki Senior Consultant Japan Intercultural Consulting
Intercultural Skills for Career Success in a Japanese Organization	2022 年 11 月 14 日	Jon James Lynch CEO, K.K. J-Global

## 1.6 その他関連データ（交換留学生等数）－資料 5-1、5-2

春夏学期の交換留学生数は回復基調にあったが、まだコロナ禍の影響が残り、伸び悩んだ。しかし、秋冬学期は本格的に国際学生交流が復活し、コロナ禍前の 2019 年度秋冬学期を大きく超える交換留学生数となった。年度内の受入人数合計は、前年度比で 181 名増の 248 名であった。

- 学生交流協定校数（2023 年 3 月 31 日現在）：大学間 93 校（前年同期比+3）  
部局間 57 校（前年同期比+28）

- 春夏学期・学部レベル交換留学生等 在籍者数：67名(+59)※
- 春夏学期・大学院レベル交換留学生 在籍者数：23名(+22)
- 秋冬学期・学部レベル交換留学生等 在籍者数：138名(+90)※
- 秋冬学期・大学院レベル交換留学生 在籍者数：50名(+40)

2022年度 春夏・秋冬学期受入れ交換留学生の合計：248名(+181)

※ 上記交換留学生等数には日本語日本文化研修生を含む。

\* 2022年度はJASSOの海外留学支援制度(協定受入)による交換留学生への奨学金支給はなかった(本学が申請したプログラムが不採択となったため)。一橋大学後援会インバウンド奨学金は秋冬学期に5名の交換留学生へ支給した(春夏学期は全ての新入国交流学生に対して入国時の防疫措置に係る費用補助として一律4万円を支給した)。